広報 ふくら

第２７号
２０１８年　３月発行

浅井湯田地域づくり協議会
事務局　湯田まちづくりセンター内　　TEL 0749(74)1438
メールアドレス　azaiyutatiiki@zd.ztv.ne.jp

第８回浅井湯田区民まつり開催される

昨年十一月五日、湯田まちづくりセンターおよびその周辺において、第８回浅井湯田区民まつりが開催されました。

午前一〇時、浅井中学校吹奏楽部によるオープニング演奏が響く中、幕が開きました。当日は好天気に恵まれ、多くの人でにぎわいました。

息の合ったオープニング演奏

会場にはいろいろな食べ物を売る出店が並び、みなさん、テントの下でゆっくりと味わいながら、ステージ上で繰り広げられる歌やオカリナ、大正琴、太鼓などの演奏、キッズダンスに見入っておられました。

オカリナ、大正琴の演奏

おいしいものがいっぱい

かわいいキッズダンス

コーラス、太鼓の演奏

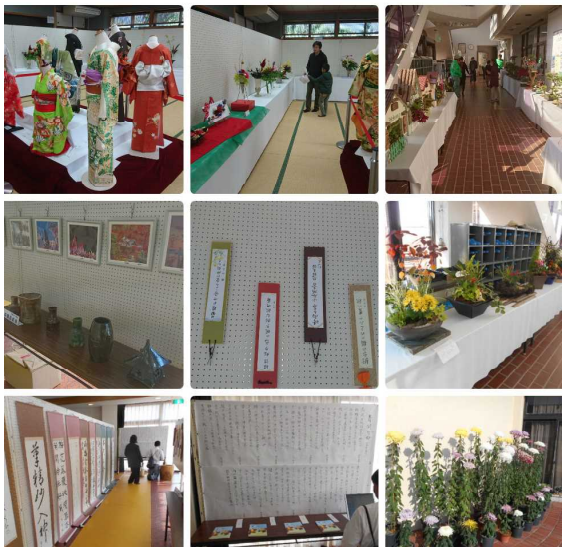
体験・遊びコーナーも充実

また動物ふれ合いコーナー、寄せ植え体験、スライム作り、スーパーボール釣り、木工工作、読み聞かせなどさまざまな体験・遊びコーナーも設けられ、興味関心のあるコーナーで楽しく時間を過ごされる姿が見られました。

いろいろな体験・遊びコーナーで子どもも大人も熱中して楽しみました

館内では浅井文化協会の展示も合流してにぎやかに

会館内には着付け、華道、盆栽、書道、寄せ植え、焼き物、短歌、通学合宿写真などが展示され、来客の皆さんの目と心を楽しませました。また玄関前には大輪菊の鉢植えが並べられ、華やかな色合いを添えました。



館内では渾身の作品を展示

スタンプラリーの効果

今年度は、地域の人々の声を反映した区民まつりにしたいと、開催前に「キックオフミーティング」が二回もたれました。そこでの活発な意見交流が、今年度の運営や企画に生きています。その一つがスタン

プラリー。会館内の展示物や健康コーナーにできるだけ多くの人に足を運んでいただきたいと実施したスタンプラリーですが、たいへん好評でした。「お子さんがスタンプラリーに来られ、付き添いの家族の方が健康チェックをしていかれるパターンが多かったです。」と健康推進課の方が笑顔で話してくださいました。

健康コーナーでは例年の血圧測定、手洗いチェック、乳がんの触診体験の他に、新たに肺機能診断が加わり、特にお年寄りや愛煙家の方には喜んでいただきましたと話されていました。

浅井体育館会場では、各自治会体育推進委員のみなさんによる体力測定が行われました。腹筋や柔軟性、握力など年齢にそくした体力が保たれているか、参加されたみなさんは少しひやひやながら懸命に取り組まれていました。またステージ前には大型

キックオフミーティング：活発に意見交流

トランポリンが用意され、子ども達が元気いっぱい跳びはねていました。

ちょっとドキドキ　健康チェック

軽トラ市も登場

今年度初めてセンター前の道路で開催した「軽トラ市」には、七台の軽トラが並び、野菜や手作りの籠、バッグなど地場ならではの心のこもった手作り品が販売され、お客さんとの間に心温まるふれ合いが交わされていました。その様子を田んぼの中に立つ案山子がうれしそうに眺めていました。

フィナーレは大盛況の餅まき

延べ二〇〇〇人ほどのお客さんでにぎわった「第８回浅井湯田区民まつり二〇一七」午後二時半に恒例の餅まきが行われ、櫓を取り囲んだみなさんの大歓声が秋空に響いて、幕を閉じました。

大いに盛り上がった
豪華景品付きの餅まき

地産地消の軽トラ市

湯田小フェスタに参加

昨年十一月十一日、湯田小フェスタが実施され、本地協も教室を一つ貸してもらい、「森の工作やさん」を開きました。当日は八人のスタッフが、どんぐりやそれぞれ野山を歩いて拾った黄色や赤の落ち葉を押し葉にして持ち寄りました。

私たちの担当はかわいい一年生、二年生の子ども達。「どんぐりゴマ作り」と押し葉による「栞作り」をしてもらいました。

どんぐりをセットして慎重に穴をあけたり、色を塗る子ども達。押し葉を選んで、考え考え貼っていく子ども達。そんな子ども達をそばで支えるお父さんやお母さん。うれしい光景をいっぱい見せてもらいました。

押し葉しおり作り

どんぐりごま作り

浅井福祉の会主催
親子事業

地域発見ハイキング

昨年末十二月三日ふくらの森にて浅井福祉の会主催の「地域発見ハイキング」が実施されました。良いお天気に恵まれ、参加した約六〇名の親子のみなさんが紅葉の美しいふくらの森の秋を楽しみました。本地協もこの事業に協力参加いたしました。

大木の伐採に参加者も大喜び

はじめに大木倒しを体験してもらおうと計画。計画では倒す側に切りこみを入れ、その後反対側から三分の一切ったあと、みなさんに引いてもらおうとロープも用意しておいたのですが、ここでハプニング。中に空洞があったため、三分の一切ったところで、勝手に倒れてしまいました（涙）。

親子の皆さん、倒れていく杉の木をあんぐりとした顔で眺めておられました。

でも、倒れた木を１ｍ～２ｍの長さに切断すると、それらの丸太を転がしたり、ロープで引っ張ったりして、広場までの丸太運びを楽しんでおられました。

秋の森の彩りと食を堪能

また、秋のふくらの森の木の実たちを観察してもらおうと、事前に１ｍほどの幅に観察通路を作っておきました。「地域おこし協力隊」の福原さんを先頭に子ども達は赤や紫に色づいた木の実発見探検に目を輝かせて取り組んでいました。

またどんぐりゴマ作りでは小さな子から高学年の子まで、お手製のコマづくりに夢中になっていました。

昼食時には豚肉や鶏肉の燻製、豚汁、焼き芋などが用意され、食欲の秋を堪能されていました。その他に、お餅をついてきなこ餅にしたり、焼きマシュマロをしたり、別腹も十分にふくらんだようでした。

地域づくり協議会では新規会員を募集しています。地域の振興に一役かってやろうと思われる方はどしどし応募してください。お申し込みは湯田まちづくりセンターまで。

お詫び：前回お届けした３月号はページ順に不備がありましたので、訂正版をお届けします。